

令和6年度 心を育む学校給食週間の取組み

◆実施校数:338 校

学校給食を実施している小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

◆実施内容

「からだ」づくり	食べ物の身体に与える影響を知る。
	季節や環境、体調に合った食を覚える。
【取組みの特徴】 委員会活動を通して、成長期に必要な栄養や自分の身体に合った食事量について、クイズやおたより、オリジナル動画等で発信し、楽しく学ぶ取組みが多かった。 栄養教諭と学級担任が協力しての食に関する指導や教職員による食の思い出などを通して、健康への関心の高まりや、給食をしっかりと食べようという意識や態度を育てる取組みも多く見られた。	

～食育指導に関わる内容の掲示物(天童市立天童中部小学校)～



↑5学年「和食のよさや食文化、食事のマナーを学ぼう」11月実施後の掲示
高学年の家庭科の資料としても活用



↑2学年「給食を食べて、元気な体をつくるひみつを知ろう」10月実施後の掲示

「からだ」づくり(身体の健康維持・増進)取組事例

学校名	山形市立第五中学校
実施期間	通年
【栄養講話】 ○栄養教諭による栄養講話「食と命の大切さ」 1年生を対象に、栄養教諭から「食と命の大切さ」をテーマに中学生に必要な栄養素や中学生期に重要なカルシウムについてお話しいただいた。また、「いのちをいただく」という絵本を紹介してもらい、食事をとることはいろいろな命をいただいていることなど、様々な角度から食の大切さについて学ぶことができた。 ◎成果 骨密度について模型を使った実験を通して中学生の時期にカルシウムを十分摂取し、骨密度をためていくことの重要性を理解することができた。また、命をいただくことについて真摯にとらえ、講話後は給食の残量が減少したクラスもみられた。	



学校名	天童市立蔵増小学校
実施期間	令和6年12月11日(水)～12月17日(火)
【委員会活動】 ○先生の給食の思い出クイズ 職員の小学生の頃の給食の思い出を放送した。放送は情報委員会の児童たちからのインタビュー形式にした。 ◎成果 職員の年代や出身地などの違いからどんな給食を食べていたかを知ることができ、様々な食文化があることを知るきっかけとなった。また、クイズ形式にしたことで、興味をもって聞くことができ、自分たちが食べている給食との違いを考えることができた。	

学校名	天童市立長岡小学校
実施期間	令和7年1月14日(火)～1月17日(金)
【家庭との協力】 ○給食試食会 授業参観の日に合わせて、保護者向けの給食試食会を開催した。当日は50名近い申し込みがあり、学校給食への関心と期待が感じられた。試食会では、給食センターの職員による献立の紹介や子どもたちへの思い、食の栄養素などの講話をしていただき、保護者の方に大変満足していただいた内容だった。後日、学校保健委員会でも試食会の話題になり、家庭と学校の食の橋渡しになる良い機会だったと話す保護者の声を多く聞くことができた。	

学校名	金山町立金山小学校
実施期間	令和7年1月20日（月）～1月24日（金）
【体験活動】 ○卵の殻むき体験 食事作りに関わることの楽しさを知ってもらうため、給食でゆで卵の殻を自分でむいて食べる体験をした。 ◎成果 卵の殻をむいて食べる活動は好評だった。児童たちからは「初めて殻をむいた。おもしろかった。」「今までおいしいと思ったことがなかったが、自分で殻をむいて食べたらおいしかった。また自分でむいて食べてみたい。」などの声が寄せられた。	

学校名	真室川町立真室川小学校
実施期間	令和6年7月、10月、令和7年1月
【体験活動】 ○ベジチェックを活用した取組み 野菜摂取レベルが測定できるベジチェックの機器を使い、全校生が測定を行った。測定した結果はレベル分けしたシールをグラフにして掲示したり、給食の放送で紹介したりした。  ◎成果 自分の野菜摂取レベルを数値で知ることができ、野菜摂取や食生活について考える機会となった。また、野菜を食べる意欲にもつながり、野菜摂取レベルも全体的に上がってきている。	

学校名	川西町立吉島小学校
実施期間	令和6年12月2日（月）～令和6年12月6日（金）
【食に関する指導】 ○栄養教諭による食指導 3，4年生を対象に町内小学校の栄養教諭から「3，4年生に必要な栄養」について授業をしていただいた。3つの食品群の働きについて学び、各自『食べ方レベルアップ作戦』を考えた。また、給食で実際に食べた献立を全部食べた時と、「魚」「野菜」「牛乳」をそれぞれ、または全種類残してしまった時の栄養成分をレーダーチャートで確認し、減らしたり残したりしてしまうとバランスよく栄養がとれないことを視覚的に学んだ。 ◎成果 3つの食品群の働きと、給食の献立がバランスよく考えられていること、残してしまうことでそのバランスが崩れてしまうことを学び、自分の食事のとり方について考え直すきっかけとなった。	

学校名	鮭川村立鮭川小学校
実施期間	令和7年1月20日（月）～1月24日（金）
【学校給食の充実】 ○特色ある給食の提供 1日目（村山地方の郷土料理）※食物繊維の多い料理 ソースカツ丼、コールスローサラダ、呉汁 2日目（置賜地方の郷土料理）※カルシウムたっぷり献立 ごはん、鯉のことこと煮、豆もやしのカレーソテー、とろべこ汁、ヨーグルト 3日目（庄内地方の郷土料理）※体ぽかぽか献立 ごはん、庄内豚の生姜焼き、庄内麩のごま和え、寒だら汁（酒粕入り） 4日目（鮭川中生徒が考えた鮭川村の食材を使って考えた献立） キンパ風混ぜごはん、韓国のり、鮭川鶏のヤンニョムチキン、ツナサラダ、鮭川きのこのトック スープ ※鮭川の食材を使った韓国料理にして、セルフキンパで食を楽しむ献立 5日目（最上地方の食材を使った献立） 鮭川産きのこの五目うどん、雪うるいのサラダ、鶏肉となんこつのキャベツ揚げ、デザート	

学校名	白鷹町立鮎貝小学校
実施期間	令和6年12月16日（月）～12月20日（金）
【委員会活動】 ○こどもラジオ（給食の思い出特集）の放送 17日（火）に校長先生に給食の思い出（好きだった給食など）をお話していただいた。インタビュアーは放送委員に依頼し、帰宅してから家族の給食の思い出話につながるようなラジオの内容にした。 ◎成果 心を育む学校給食週間の1週間に「栄養教諭の講話」「こどもラジオ」「バイキング給食」「調理場の方との交流会食」等を集中的に実施し、給食に関する関心を高めることができた。取組内容は学期末の保健だよりの中に掲載し、保護者にも紹介した。	



学校名	酒田市立東部中学校
実施期間	通年
【委員会活動】 ○「ぐっすり睡眠・ぱっちり朝食・頭すっきり」 生活リズムの大切さや睡眠、朝食の大切さを考える取組みを行った。 ・カードでの目標設定と振り返り ・朝食についてのクラス対抗クイズ ・朝食の大切さを伝えるスライド上映 （健康委員生徒の音声を吹き込み、校内2カ所でエンドレス上映） ◎成果 朝食の摂取率アップの取組みでは、カードやクイズ、スライド上映等を活用しながら、朝食を食べようとする意欲や栄養バランスの良い朝食を食べようとする意欲につなげることができた。	



学校名	三川町立三川中学校
実施期間	令和6年5月7日（火）～令和7年1月31日（金）
【教科と連携】 ○家庭科の時間に給食献立を考える 家庭科の時間を使い、生徒の興味のあるカルシウムをたくさん含む食品を調べたり、その食材を使って給食の献立を考えたりした。考えた給食の献立は希望献立の日の実際のメニューになり、給食に提供された。 <生徒が考えた献立> テーマ：カルシウムたっぷり献立 ・しらす菜飯（しらす、青菜） ・みそ汁（きのこ、青菜） ・とうふハンバーグ（とうふ） ・切り干し大根サラダ（切り干し大根、海藻） ・チーズ・牛乳 	
◎成果 今回、希望献立を提出する際に家庭科の学習で生徒の興味関心が高い、骨の成長のためのカルシウムについて取り上げ、自分たちで給食の献立を考えさせた。意外な食品にカルシウムやカルシウムの吸収を助けるビタミンDがたっぷり含まれていることを知り、食事摂取基準をもとに、一食分のカルシウム量を充たすにはどんな献立がいいかを考えることができた。さらに、栄養教諭から自分たちの献立を選んでもらったという満足感を得て、その献立の日の給食は残食がほぼなかった。	

学校名	県立新庄養護学校
実施期間	令和7年1月14日（火）～1月24日（金）
【教科と連携】 ○職業・家庭の授業での給食献立作成（中学部1年生） 中学部1年生が「職業・家庭」の授業で、栄養バランスの良い給食の献立を考えた内容を、実際の給食のメニューとして再現し提供した。特に手巻き寿司は初めて体験する児童生徒もおり、それぞれが楽しみながら経験を深めた。また、学校栄養士が内容についてコメントをするなど授業と連携して食育の取組みを行った。   	
◎成果 生徒が考えたメニューの再現やカルシウムの多いメニューの提供により、栄養のことについて、興味・関心を持ち、楽しく知識を広げることができた。栄養のバランス（赤・黄・緑の食べもの）を考えて苦手なものも残さず食べたり、よく噛んで食べたりする等実践につなげることができた。	